

浸水想定区域の見直し

水防法改正の概要 (H27.5.20公布、H27.7.19一部施行)

課題

近年、洪水のほか、内水※・高潮により、現在の想定を超える浸水被害が多発



H26. 8 避難所2階の浸水(徳島県)



H25. 8 梅田駅周辺の浸水(大阪市)

※) 内水…公共の水域等に雨水を排水できないことによる出水。条文上は、「雨水出水」。

方向性

想定し得る最大規模の洪水に対する避難体制等の充実・強化

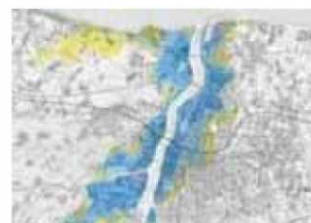
想定し得る最大規模の内水・高潮に対する避難体制等の充実・強化

下水道管理者と連携した、内水に対する水防活動の推進

改正の概要

○: 水防法改正 ◇: 水防法・下水道法改正

- 現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表 (現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



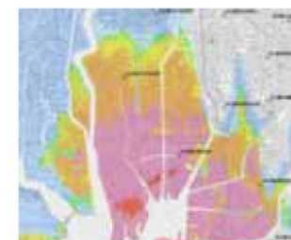
河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

- 想定し得る最大規模の内水・高潮に係る浸水想定区域を公表する制度を創設

- 内水・高潮に対応するため、下水道・海岸の水位により浸水被害の危険を周知する制度を創設



高潮浸水想定区域

※ 「相当な損害を生ずるおそれ」がある箇所において実施することを想定

- ◇ 下水道管理者に対し、水防計画に基づき水防管理団体が行う水防活動に協力することを義務付け

浸水想定区域…市町村地域防災計画に、洪水予報等の伝達方法、避難場所、避難経路等が定められ、ハザードマップにより、当該事項が住民等に周知されるとともに、地下街等の所有者等が避難確保等計画を定めること等により、避難確保等が図られる。
→ 洪水予報等、浸水被害の危険を周知する制度と相まって、避難体制等を充実・強化

浸水想定区域図の概要(信濃川(下流)、関屋分水路)

今回公表版(②、③は告示図面、①は参考図面)

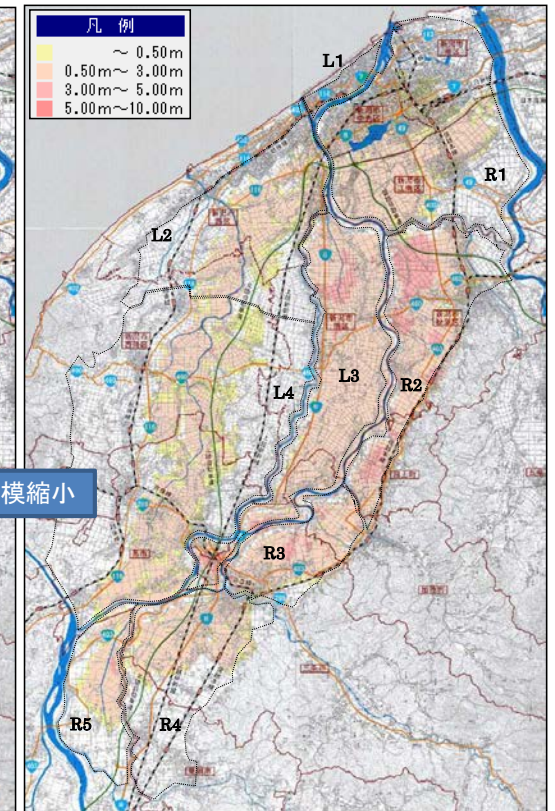
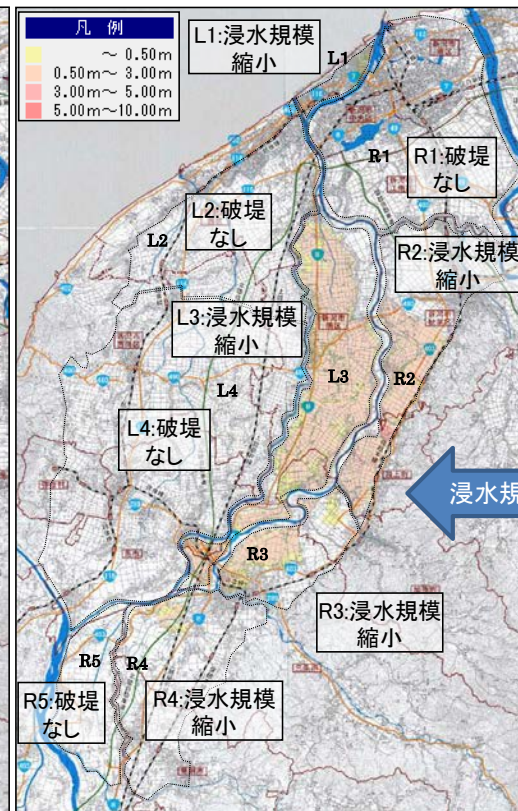
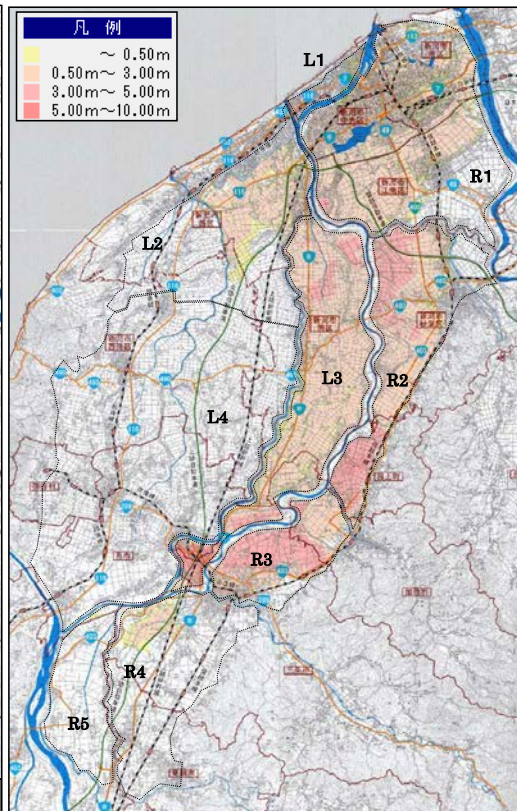
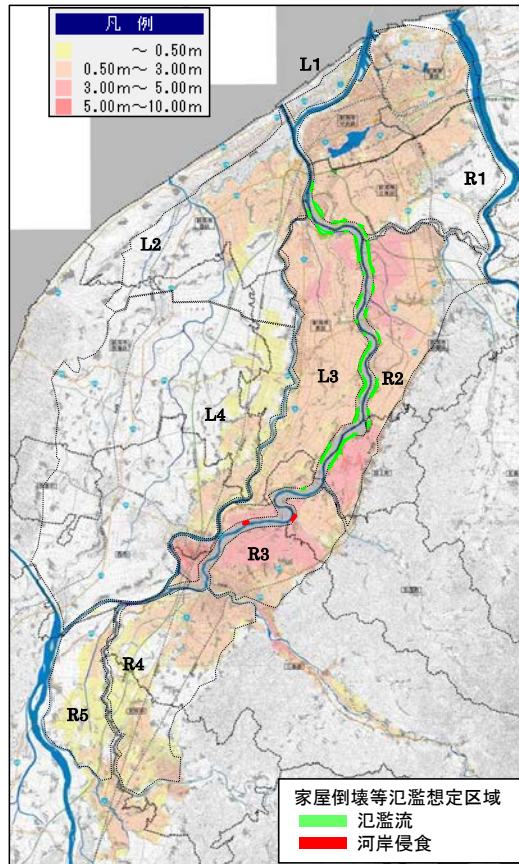
平成14年公表版

①【想定最大規模】(支川越水表示有)
H23.7型洪水波形

②【想定最大規模】(支川越水表示無)
H23.7型洪水波形

③【計画規模】(支川越水表示無)
S36.8型洪水波形

④【計画規模】(支川は越水しない)
S36.8型洪水波形



※前提となる降雨条件: ①・② 想定しうる最大規模(2日間総雨量633mm)
③・④ 河川整備基本方針規模(2日間総雨量270mm)

※越水・破堤条件: ①・②・③
本川 HWL(堤防が低い場合は、スライドダウン堤防高ー余裕高)で破堤
支川 越水を考慮(破堤はしない。)

④
本川 HWL(堤防が低い場合は、スライドダウン堤防高ー余裕高)で破堤
支川 越水を考慮せず(破堤はしない。)

※③と④の主な違い

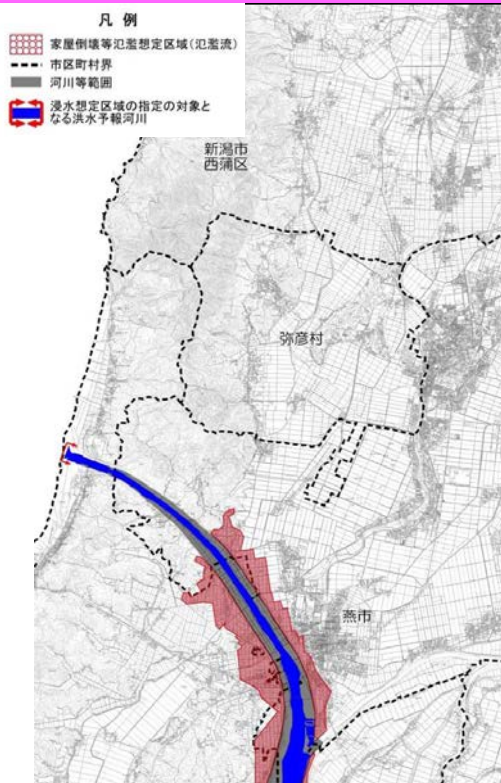
- ・河道形状(平成14年公表版(平成11年度末河道)以降の堤防整備や河道掘削等の改修状況を反映)
- ・計算メッシュ(公表済み: 250mメッシュ、今回公表: 25mメッシュ)

浸水想定区域図の概要（大河津分水路 信濃川河川事務所）

今回公表版(②、③は告示図面、①は参考図面)

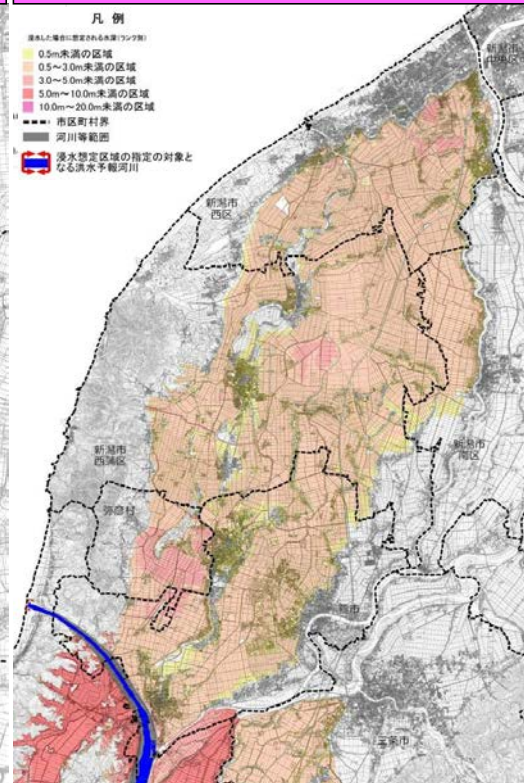
平成14年公表版

①【家屋倒壊等氾濫想定区域】 S56.8型洪水波形



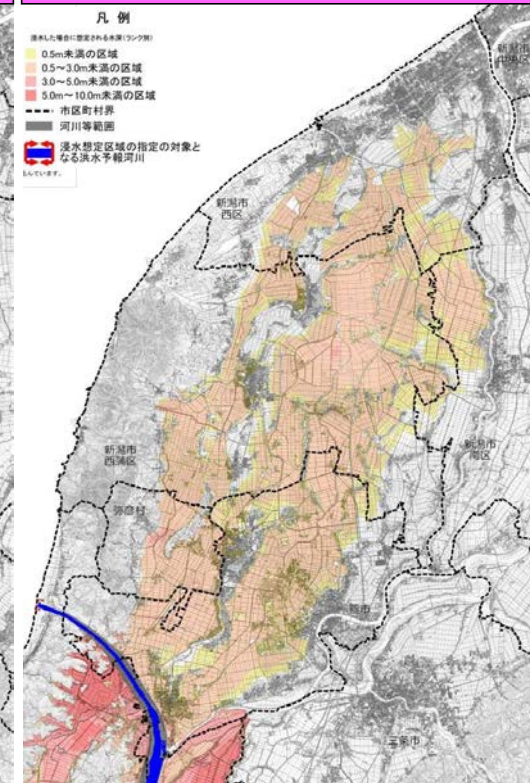
氾濫流による家屋倒壊等を示す。
河岸侵食による家屋倒壊等はない。

②【想定最大規模】(支川越水表示無) S56.8型洪水波形

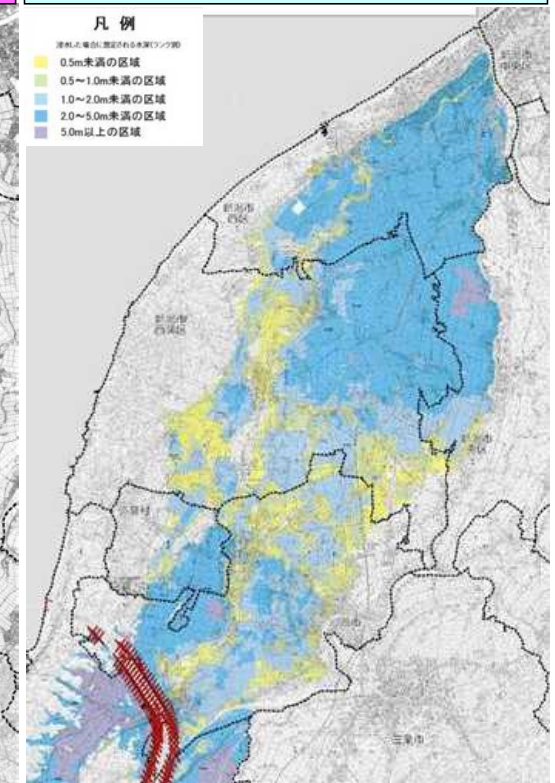


支川越水表示有りの図面も、浸水区域は同じ

③【計画規模】(支川越水表示無) S56.8型洪水波形



④【計画規模】(支川は越水しない) S36.6型洪水波形



※前提となる降雨条件: ①・② 想定しうる最大規模(48時間総雨量331mm)

③・④ 河川整備基本方針規模(48時間総雨量171mm)

※越水・破堤条件: ①・②・③

本川 HWL(堤防が低い場合は、スライドダウン堤防高ー余裕高)で破堤
支川 越水を考慮(破堤はしない。)

④

本川 HWL(堤防が低い場合は、スライドダウン堤防高ー余裕高)で破堤
支川 越水を考慮せず(破堤はしない。)

※③と④の主な違い

- ・河道形状(平成14年公表版(平成11年度末河道)以降の堤防整備や河道掘削等の改修状況を反映)
- ・計算メッシュ(公表済み:250mメッシュ、今回公表:25mメッシュ)

信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1. 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報期間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
- (2) 指定年月日
平成28年5月30日
- (3) 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第56号
- (4) 指定の根拠法令
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
- (5) 対象となる洪水予報河川
信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路(実施区間)
左岸:新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から海まで
右岸:新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から海まで
- (6) 指定の前提となる降雨
信濃川下流流域の2日間総雨量633mm
- (7) 関係市町村
新潟市、加茂市、三条市、燕市、田上町
- (8) その他の計算条件等
浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

1:75000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第149号)

信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1. 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報期間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、公表時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
- (2) 公表年月日
平成28年5月30日
- (3) 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第56号
- (4) 根拠法令
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川
信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路(実施区間)
左岸:新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から海まで
右岸:新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から海まで
- (6) 算出の前提となる降雨
信濃川下流流域の2日間総雨量633mm
- (7) 関係市町村
新潟市、加茂市、三条市、燕市、田上町



- 凡 例
- 浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)
- 12時間未満の区域
 - 12時間～1日未満の区域
 - 1日～3日未満の区域
 - 3日～1週間未満の区域
 - 1週間～2週間未満の区域
 - 2週間～4週間未満の区域
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

1:75000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第149号)

信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路
洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

1. 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報期間について、家屋倒壊をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定図は、公表時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
- (2) 公表年月日
平成28年5月30日
- (3) 対象となる洪水予報河川
信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路(実施区間)
左岸:新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から海まで
右岸:新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から海まで
- (4) 算出の前提となる降雨
信濃川下流流域の2日間総雨量633mm
- (5) 関係市町村
新潟市、加茂市、田上町



凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路 洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

1. 説明文

- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報期間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定図は、公表時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路の河岸の侵食を予測したものです。
- (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、信濃川(下流)、関屋分水路の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
- (2) 公表年月日
平成28年5月30日
- (3) 対象となる洪水予報河川
信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路(実施区間)
左岸:新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から海まで
右岸:新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から海まで
- (4) 算出の前提となる降雨
信濃川下流域の2日間総雨量633mm
- (5) 関係市町村
加茂市、三条市

位置図



索引図



凡 例

- 家屋倒壊等氾濫
想定区域(河岸侵食)
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川

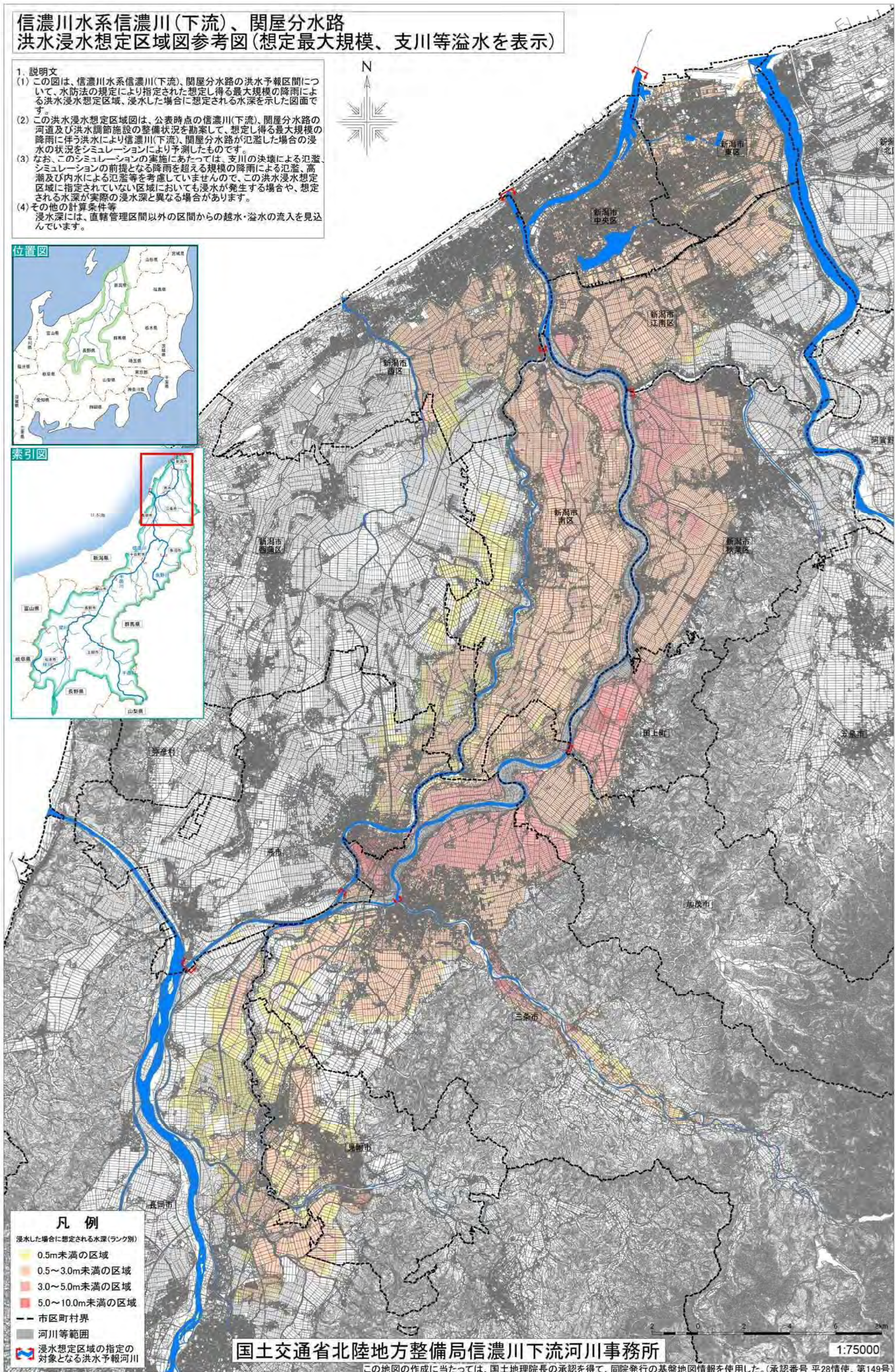
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

1:75000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第149号)

1. 説明文

- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4) その他の計算条件等
浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

1:75000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第149号)

信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路
洪水浸水想定区域図(計画規模)

1. 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報期間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の信濃川(下流)、関屋分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(約0.7%))の降雨に伴う洪水により信濃川(下流)、関屋分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
- (2) 公表年月日
平成28年5月30日
- (3) 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第56号
- (4) 根拠法令
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川
信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路(実施区間)
左岸:新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から海まで
右岸:新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から海まで
- (6) 算出の前提となる降雨
信濃川下流流域の2日間総雨量270mm
- (7) 関係市町村
新潟市、加茂市、三条市、燕市、田上町
- (8) その他の計算条件等
浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

1:75000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第149号)

信濃川水系信濃川、大河津分水路洪水浸水想定区域図（想定最大規模） 1/2

- 1 説明文
- （１）この図は、信濃川水系信濃川、大河津分水路の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- （１）作成主体 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

（２）指定年月日 平成２８年５月３０日

（３）告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第56号

（４）指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

（５）対象となる洪水予報河川

・信濃川水系信濃川、大河津分水路区間（実施区間）

左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで

右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

（６）指定の前提となる降雨 信濃川流域の2日間総雨量331mm

（７）関係市町村 新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、三条市、見附市、長岡市、小千谷市、弥彦村

（８）その他の計算条件等

浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



- 凡 例
- 浸水した場合に想定される水深（ランク別）

 - 0.5m未満の区域
 - 0.5～3.0m未満の区域
 - 3.0～5.0m未満の区域
 - 5.0m～10.0m未満の区域
 - 10.0m～20.0m未満の区域

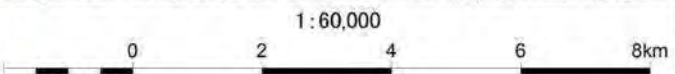
----- 市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を経て、同院発行の基盤地図情報等を備用した。（資料番号 国土院地 第95号）



信濃川水系信濃川、大河津分水路洪水浸水想定区域図（浸水継続時間） 1/2

- 1 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川、大河津分水路の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、公表時点の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

(2) 公表年月日 平成28年5月30日

(3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第56号

(4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

(5) 対象となる洪水予報河川

・信濃川水系信濃川、大河津分水路区間（実施区間）

左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで

右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

(6) 算出の前提となる降雨 信濃川流域の2日間総雨量331mm

(7) 関係市町村 新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、三条市、見附市、長岡市、小千谷市、弥彦村

(8) その他の計算条件等

浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



- 凡 例
- 浸水継続時間

12時間未満

12時間～24時間(1日間)未満

24時間～72時間(3日間)未満

72時間～168時間(1週間)未満

168時間～336時間(2週間)未満

336時間～672時間(4週間)未満

市町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

信濃川水系信濃川、大河津分水路洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)) 1/2

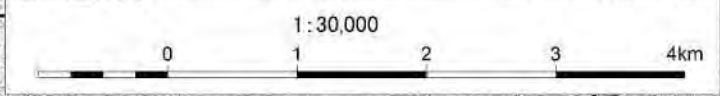
新潟県
西蒲区

- 1 説明文
- (1) この図は、信濃川水系信濃川、大河津分水路の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
- (2) 公表年月日 平成28年5月30日
- (3) 対象となる洪水予報河川
・信濃川水系信濃川、大河津分水路区間(実施区間)
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで
- (4) 算出の前提となる降雨 信濃川流域の2日間総雨量331mm
- (5) 関係市町村 燕市、長岡市、小千谷市



- 凡 例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



新蒲区

(1) この図は、信濃川水系信濃川、大河津分水路の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路の河岸の侵食幅を予測したものです。

(3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、信濃川、大河津分水路の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
(2) 公表年月日 平成28年5月30日
(3) 対象となる洪水予報河川
・ 信濃川水系信濃川、大河津分水路区間（実施区間）
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで
(4) 算出の前提となる降雨 信濃川流域の2日間総降雨量331mm
(5) 関係市町村 長岡市、小千谷市

位置図

[illegible]

 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
 市区町村界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1:30,000

0 1 2 3 4k

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川、大河津分水路洪水浸水想定区域図（計画規模）1/2

- 1 説明文
- 〔1〕この図は、信濃川水系信濃川、大河津分水路の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

〔2〕この洪水浸水想定区域図は、公表時点の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 $1/150$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/150$ （0.7%））の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

〔3〕なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- 〔1〕作成主体 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

〔2〕公表年月日 平成28年5月30日

〔3〕告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第56号

〔4〕根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

〔5〕対象となる洪水予報河川

・信濃川水系信濃川、大河津分水路区間（実施区間）

左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで

右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

〔6〕算出の前提となる降雨 信濃川流域の2日間総雨量171mm

〔7〕関係市町村 新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、三条市、見附市、長岡市、小千谷市、弥彦村

〔8〕その他の計算条件等

浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



- 凡 例
- 浸水した場合に想定される水深（ランク別）

0.5m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

5.0m～10.0m未満の区域

市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水 想定区域図(想定最大規模)

凡 例

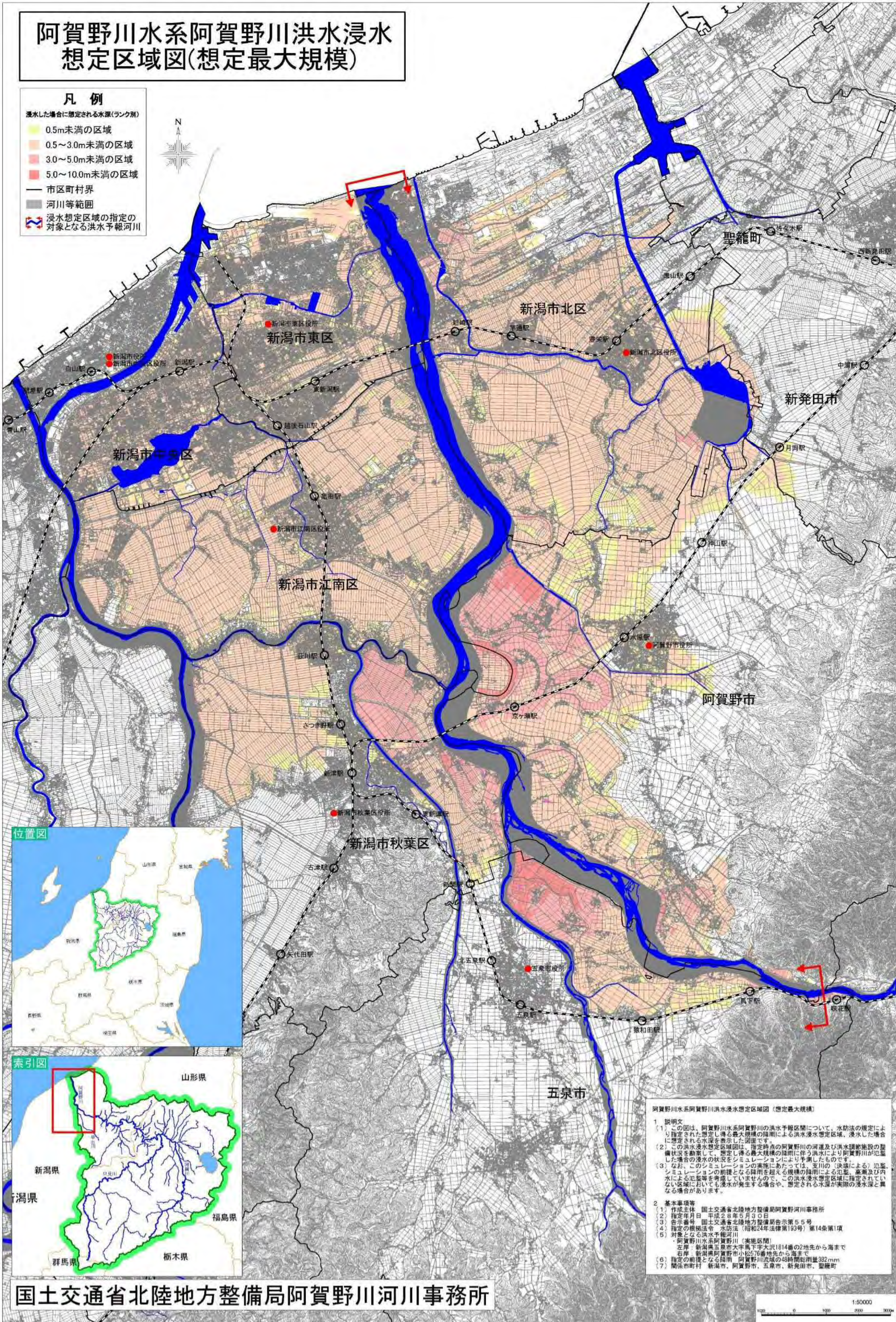
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域

市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川



阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1 説明文

- この図は、阿賀野川水系阿賀野川の洪水予報区域について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、指定時点の阿賀野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿賀野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支流の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀野川事務所
- 指定年月日 平成28年5月30日
- 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第55号
- 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
- 対象となる洪水予報河川
・阿賀野川水系阿賀野川(実施区域)
左岸:新潟県五泉市大字馬下大沢1814番の2地先から海まで
右岸:新潟県阿賀野市小松576番地先から海まで
- 指定の前提となる降雨 阿賀野川流域の48時間総雨量382mm
- 関係市町村 新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市、聖籠町

阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水 想定区域図(浸水継続時間)

凡 例

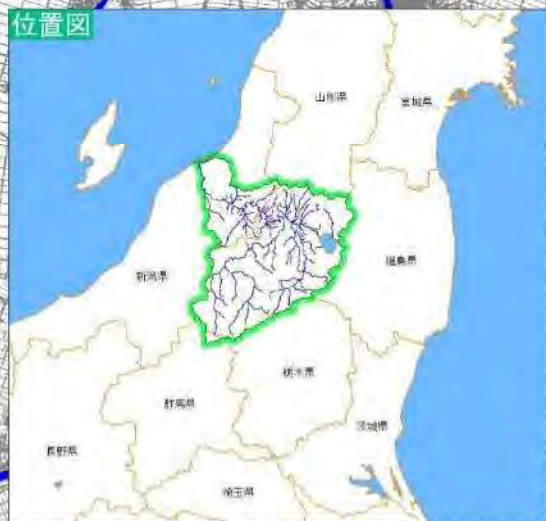
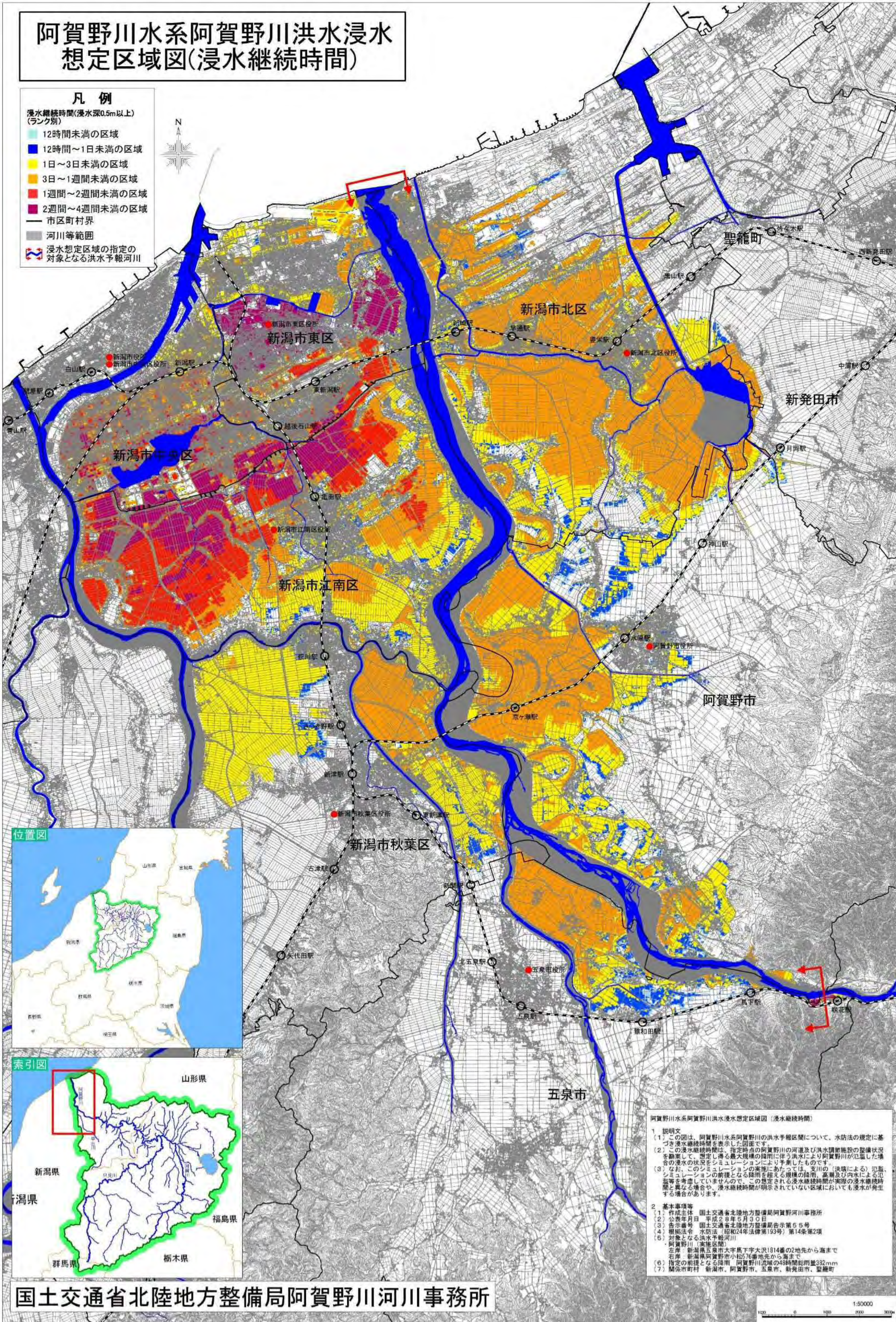
浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間未満の区域

市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川



阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1 説明文

(1) この図は、阿賀野川水系阿賀野川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、指定時点の阿賀野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿賀野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる規模の降雨、高潮及び洪水による巨浪等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所

(2) 公表年月日 平成28年5月30日

(3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第55号

(4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

(5) 対象となる洪水予報河川

・阿賀野川(本流区間)

左岸 新潟県五泉市大字馬下大字大沢1814番の2地先から海まで

右岸 新潟県阿賀野市小松576番地先から海まで

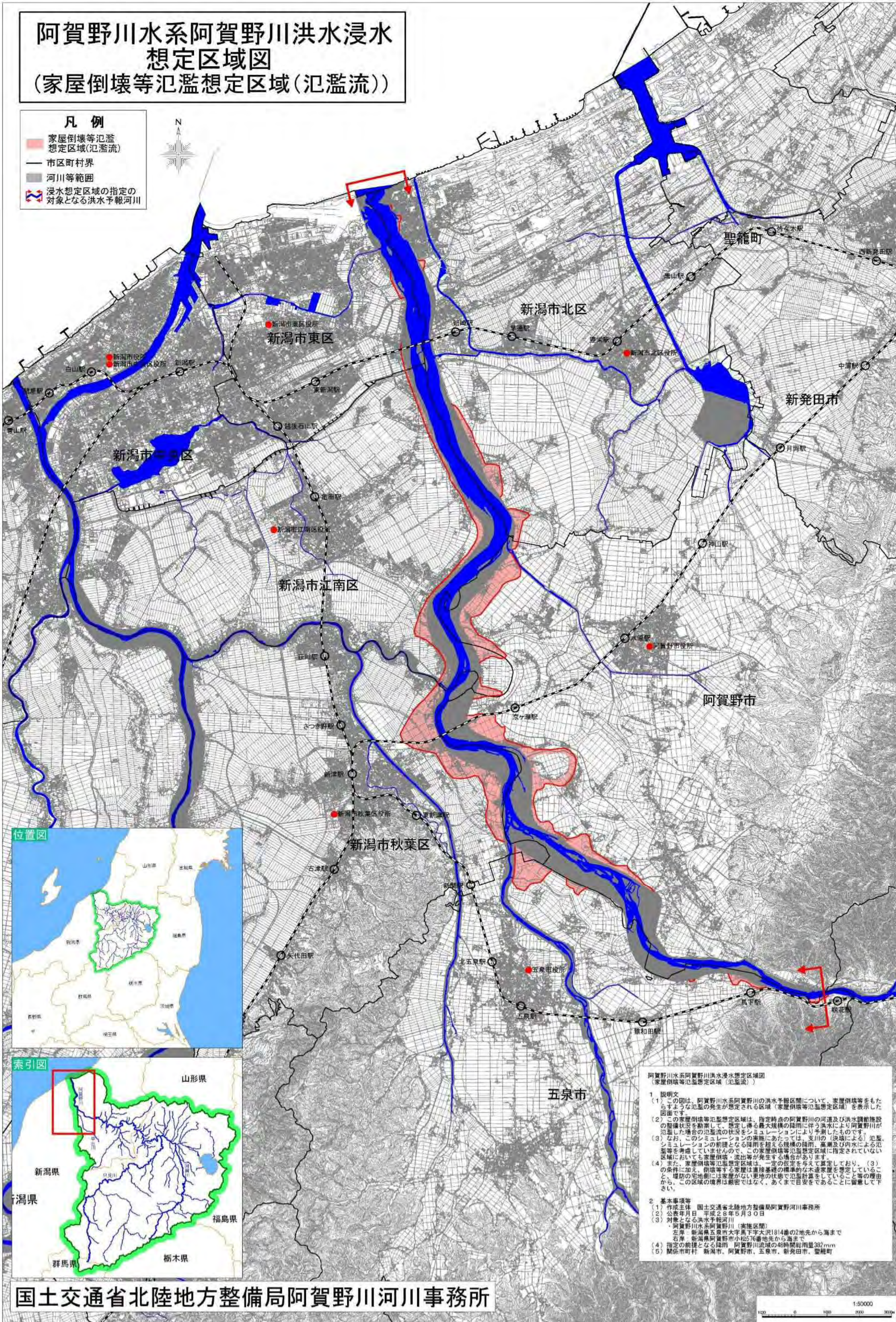
(6) 指定の前提となる降雨 阿賀野川流域の48時間総雨量382mm

(7) 関係市町村 新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市、聖籠町

阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水 想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

凡 例

- 家屋倒壊等氾濫
想定区域(氾濫流)
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川



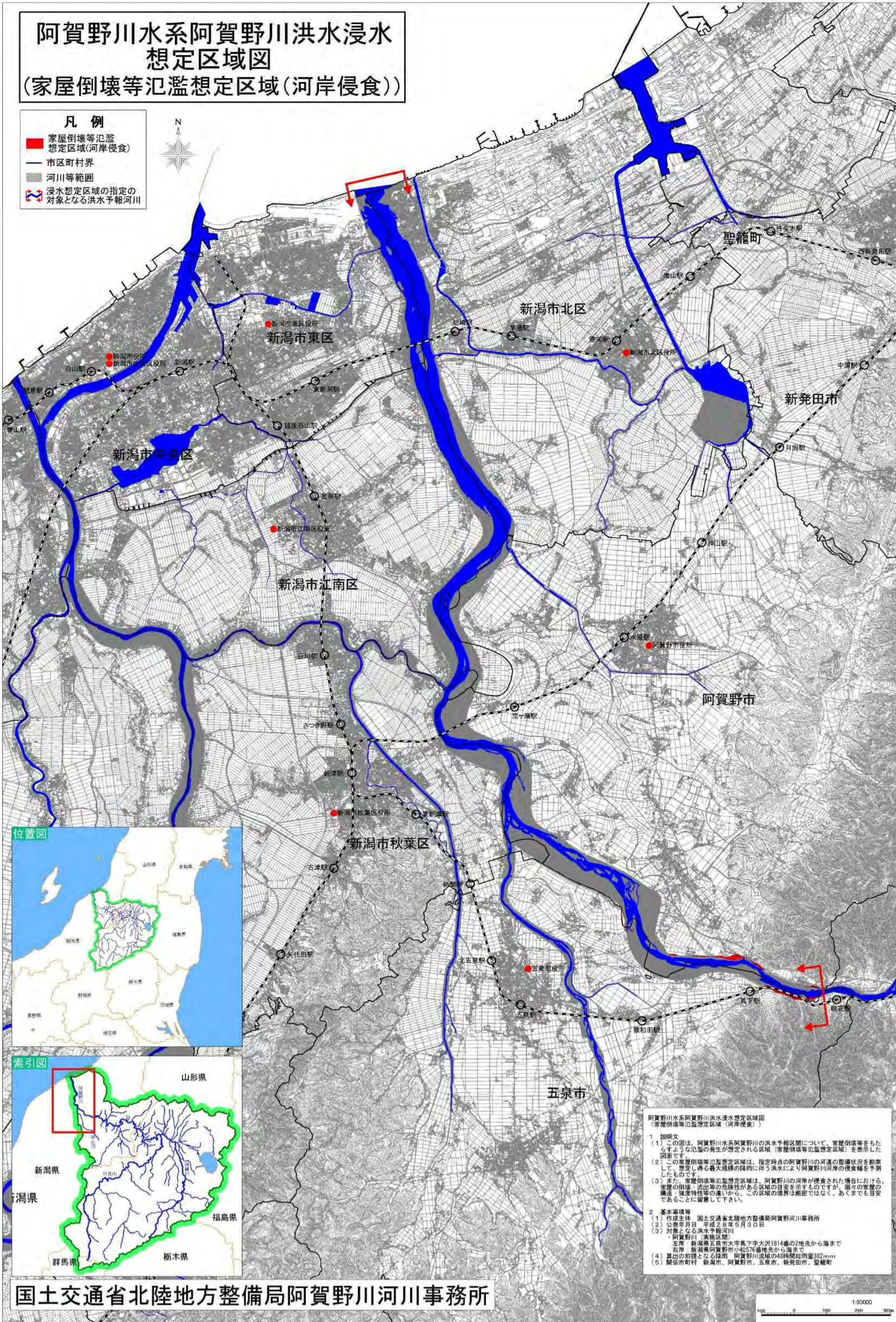
阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

1 説明文
(1) この図は、阿賀野川水系阿賀野川の洪水予報期間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の阿賀野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿賀野川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの前提となる降雨は、支川の(流域による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所
(2) 公表年月日 平成28年5月30日
(3) 対象となる洪水予報河川(実施区域)
・阿賀野川水系阿賀野川(実施区域)
左岸 新潟県五泉市大字馬下大字1814番の2地先から海まで
右岸 新潟県阿賀野市小松576番地先から海まで
(4) 指定の前提となる降雨 阿賀野川流域の48時間総雨量382mm
(5) 関係市町村 新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市、聖籠町

阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水 想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

- 凡 例**
- 家屋倒壊等氾濫
想定区域(河岸侵食)
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 〓 浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川



阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

1 説明文
(1) この図は、阿賀野川水系阿賀野川の洪水予報区域について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の阿賀野川の河運の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により阿賀野川河岸の侵食幅を予測したものです。
(3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、阿賀野川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は概算ではなく、あくまでも目安であることを留意して下さい。

2 基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所
(2) 公表年月日 平成28年5月30日
(3) 対象となる洪水予報河川
① 阿賀野川(本流区間)
左岸 新潟県五泉市大字馬下大沢1914番の2地先から海まで
右岸 新潟県阿賀野市小松576番地先から海まで
(4) 露出の前提となる降雨 阿賀野川流域の48時間総雨量382mm
(5) 関係市町村 新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市、聖籠町

阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水 想定区域図(計画規模)

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

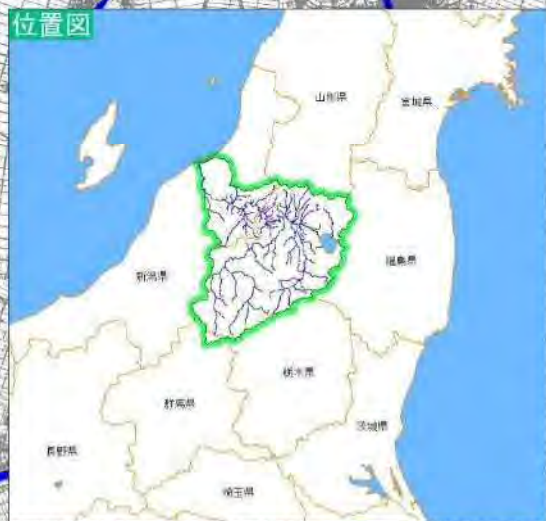
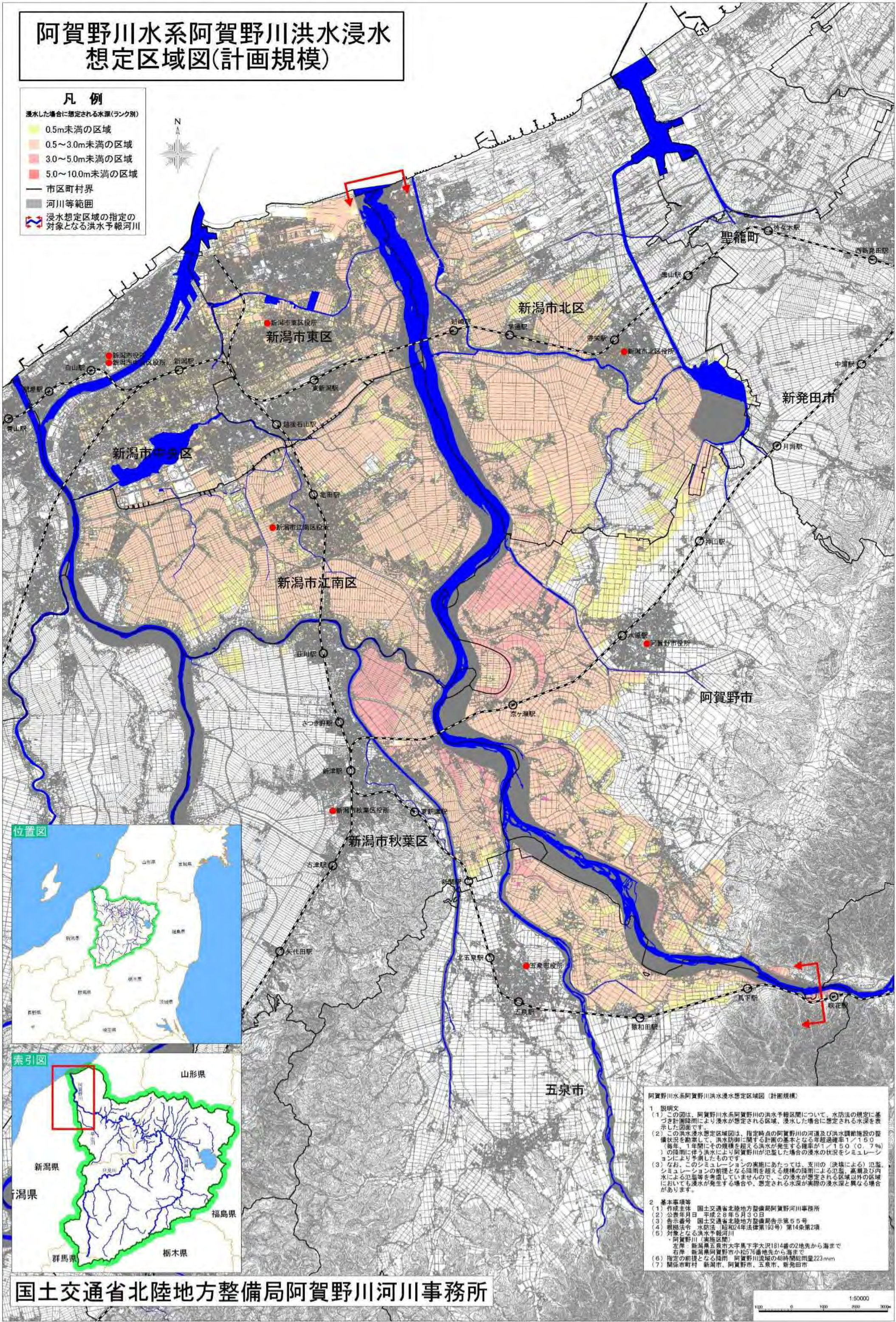
3.0～5.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の
対象となる洪水予報河川



阿賀野川水系阿賀野川洪水浸水想定区域図(計画規模)

- 1 説明文
(1) この図は、阿賀野川水系阿賀野川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2) この浸水浸水想定区域図は、指定時刻の阿賀野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により阿賀野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀野川事務所
(2) 公表年月日 平成28年6月30日
(3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第55号
(4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第153号)第14条第2項
(5) 対象となる洪水予報河川
・阿賀野川(実施区域)
左岸 新潟県五泉市大字馬下字大沢1814番の2地先から海まで
右岸 新潟県阿賀野市小松576番地先から海まで
(6) 指定の前提となる降雨 阿賀野川流域の48時間総雨量223mm
(7) 関係市町村 新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市

国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所

